

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	通園めだか		
○保護者評価実施期間	令和6年11月8日		～ 令和6年11月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21人	(回答者数) 19人
○従業者評価実施期間	令和6年11月8日		～ 令和6年11月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数) 20人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月16日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもも保護者も安心できる居場所になっている	毎日の楽しい保育・療育の実施。 何か困ったことがあった時にはいつでも話を聞く姿勢。 一人一人の子どもを大切に思う職員の関わり。 信頼関係のある職員集団作り。	保育技術の向上。 研修会の充実。 保護者学習会・懇談会の内容の充実。
2	保護者支援の内容	週1回の親子保育の開催 月1回の保護者学習会・懇談会の開催	保護者の悩みに寄り添った学習会の企画と、保護者同士が語り合える懇談会の開催
3	保育現場の職員と専門職の協力関係	標準化されたアセスメントの実施は専門職が行い、日々の保育・療育の関わりの中で見える子どもの発達課題は現場職員が把握し、その双方を出し合って子どもの全体像や支援計画をたてているところ。	現場職員の発達を捉える視点をさらに深める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	おたよりの発行やホームページ等への発信	期日を定めていないので、先延ばしにしてしまう	おたよりやホームページ掲載の期日を決めて取り組む
2	保育所の子どもたちとの交流	年何回、時期はいつと、年間計画の中で決めて進めていないこと その予定を保護者にお伝えしていないこと	年間計画の中で、保育所交流の予定を決めて、保護者に周知する
3	送迎バスを利用している保護者と話をする機会が少ない	送迎バスに現場職員が添乗していないので、話をする機会が少ない 定期的に電話をすることができていない	送迎バスを利用している保護者の方には、親子保育の時に話を伺うように意識していきます。